タイトル　七ヶ浜町仮設住宅茶話会「だん・だん」

日付　平成25年　7月23日（火）　7月30日（火）　8月6日（火）
8月20日（火）　9月5日（木）　9月10日（火）　9月24日（火）

概要及び報告

場所：七ヶ浜町仮設住宅
テーマ：『東日本大震災・被災者健康調査結果報告』
『飲酒習慣が心身に与える影響』

□ 平成23・24年度東日本大震災・被災者健康調査結果の報告と懸念される健康問題について

昨年度より七ヶ浜町役場健康増進課と富田研究室が共同で行ってきた七ヶ浜町仮設住宅茶話会「だん・だん」が今年度も開催されました。

まずは富田教授から、七ヶ浜町と東北大学が共同で行った平成23・24年度東日本大震災・被災者健康調査の結果についての解説がありました。調査で明らかになったことは、①1年が経過しても、震災の影響が心身に残る者が多く存在していること、②影響が出ている者は1年前と比べてほぼ同数であるが、詳しく見ていくと、症状が軽減した人数とほぼ同等の人数が症状を悪化させていること、でした。死の危険を感じるような出来事に遭遇した後、心身の様々な症状を呈するPTSD（心的外傷後ストレス障害）においては、しばらく時間が経過してから症状が表出することもあり、そのような人々に対して適切な状態把握とケアが必要である、ということが住民の方々に伝えられました。

また、同調査における飲酒習慣のアンケートでは、平成23年度に比べて平成24年度のほうが、飲酒量が増えたと回答する人の割合が増えていました。被災地では、被災者の心身に様々な影響が見られますが、先行研究等からアルコール摂取が過剰になりやすいことも影響のひとつであることが知られており、七ヶ浜町においても同様に、仮設住宅で周囲に気を遣いながら過ごす等、生活上のストレスが高まる中で、ストレス解消の手段として飲酒行動が増えていることが考えられました。そのような観点から、飲酒習慣に関する管理・指導も被災地の精神保健において重要な課題であることが調査結果から示されました。

調査結果を受け、富田教授から適切な飲酒習慣について留意すべきポイントが話されました。個人の体質の違いや酔いの段階など身体面への影響や反応などが解説され、適度な量であれば健康増進に役立ち、過剰量であれば心身に悪影響を及ぼすことが伝えられました。

文責：山田　洋介

□ 談話会

[7月23日（火） 七ヶ浜中学校第2グラウンド応急仮設住宅]

会場の様子

住民の方々から、飲酒習慣についての疑問や、自分自身や家族のアルコールにまつわるエピソードなどが話され、様々な体験や知識が共有されました。

また、時間が経つにつれて仮設住宅住民が集まるイベント等が減って寂しい、などの思いも住民の方から語られました。

[7月30日（火） 湊浜2丁目地区応急仮設住宅]

会場の外観

七ヶ浜町で行った健康アンケートの結果をお伝えし、こころとからだに関する様々な知識とアドバイスを提供しました。

また、仮設住宅にお住まいの方々からは、家族に関する困り事や将来への見通しが持てない不安などが語られました。

[8月6日（火） 野外活動センター仮設住宅]

東北メディカル・メガバンク機構と七ヶ浜町の健康増進のため、保健師による血圧測定を行いました。また地域住人の手元に届いたこころと体のアンケート結果回付を介しながら、現在の健康状態をお聞きしながら、仮設住宅で過ごしながら、健康維持の難しさと対応策を考えました。

□ 談話会

[8月20日（火） 松ヶ浜謡地区児童遊園仮設住宅]

会場の様子

七ヶ浜健康増進プロジェクトのアンケート結果から見えてきた情報を伝えました。
また参加者から、自身や家族の健康についての心配や、経過についての話題提供があり、それに対して、状況確認およびアドバイスを行いました。

[9月5日（木） 汐見台7丁目仮設住宅]

都合により、
会場写真は
不掲載。

会場の様子

七ヶ浜健康増進プロジェクトのアンケート結果と適切な飲酒習慣についての情報をお伝えしました。 また参加者から、健康不安・心配や、仮設生活後の地域での生活についての不安について語られました。健康不安に対してなど、状況確認およびアドバイスを行いました。

[9月10日（火） 第一スポーツ広場仮設集会所]

会場の様子

七ヶ浜健康増進プロジェクトのアンケート結果と適切な飲酒習慣についてお伝えしました。参加者から、自身や家族のアルコールにまつわるエピソードが語られ、アドバイスを行いました。
また、再建に伴う悩み等が話されました。

□ 談話会

[9月24日（火） 町水道庁舎2階　第一会議室]

会場の様子

七ヶ浜健康増進プロジェクトのアンケート結果をお伝えし、PTSD症状とその対処についての解説を行いました。

地域住民の方からは、生活再建の難しさや、震災体験の違いからくる住民同士の語り合いの難しさが報告されました。